

2022年7月 戸田市景気動向に関するアンケート調査結果

1 目的

市内の景況に関し、現状や見通しなどの調査を行うことで、業種別の市内景気の動向を迅速に把握するほか、今後ますます必須となってくるデジタル化について実態を把握し、今後どのような支援策が必要かどうか、経済施策立案のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査期間

2022年7月7日(木)～7月25日(月)

3 調査対象

市内事業者700社

4 調査方法

WEB調査

(対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)

5 回答状況

有効回答数	244社
回答率	34.9%

市内中小企業の景況感

市内中小企業の景況感は、前期に比べ減退傾向が見られ、見通しについても、厳しい状況である。
原材料・仕入価格の上昇が続いており、価格転嫁せざるを得ない状況がうかがえる。

特別調査

デジタル化・DXについて
事業承継について
SDGs(持続可能な開発目標)について

DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは

増加(好転)と回答した企業割合から減少(悪化)と回答した企業割合を差し引いた指数で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指数のことである。

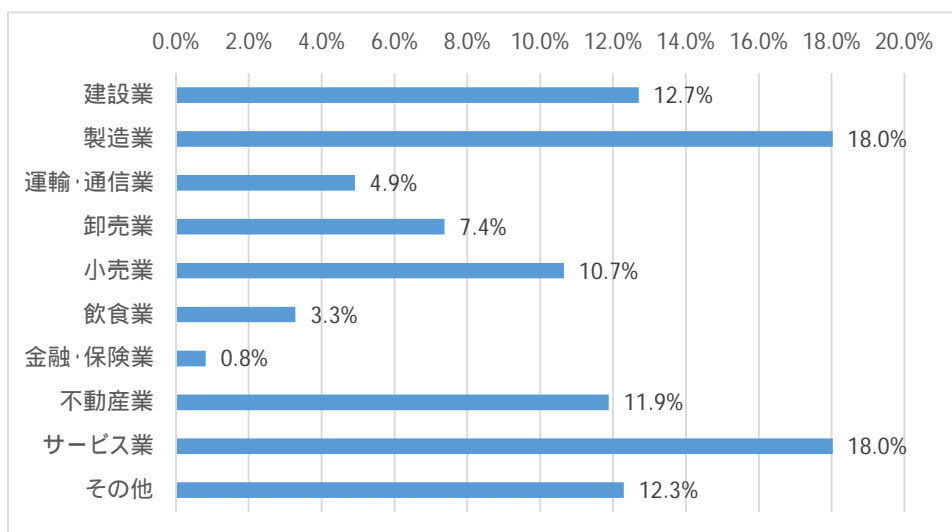
<例> 「増加」50% 「変わらず」20% 「減少」30%
 $DI = 50\% - 30\% = 20$

本調査における構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

調査の基本項目

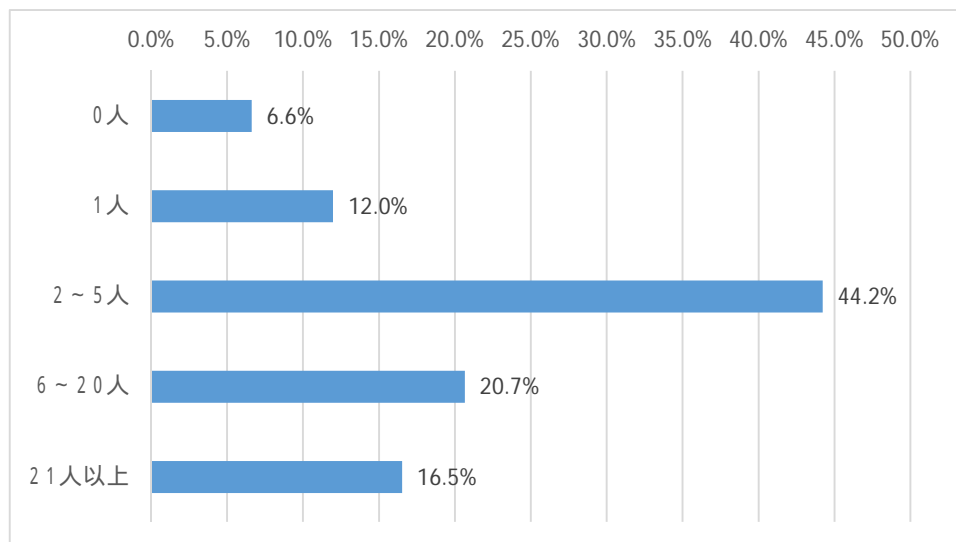
1 事業所の業種

業種分類は、「サービス業」、「製造業」が18.0%、「建設業」が12.7%で続き、以下「不動産業」、「小売業」、「卸売業」、「運輸・通信業」、「飲食業」、「金融・保険業」となっている。



2 従業員数

従業員数の分布は、「2～5人」が44.2%、「6～20人」が20.7%、「21人以上」が16.5%、「1人」、「0人」が続いている。本調査では小規模の事業所の回答が中心となっている。



1 戸田市内の景況や貴事業所の動向について

Q1 景況や貴事業所の動向の「実績見込み」と「見通し」について

戸田市内の景況や貴事業所の動向に関する以下の10項目について、それぞれ該当するものを選択

- ・実績見込み: 令和4年度上期は、令和3年度下期と比べていかがか。
- ・見通し: 令和4年度下期は、現在の実績と比べてどうなると思うか。

なお、業種によっては回答する必要のない項目があるため、その場合は未記入

10項目

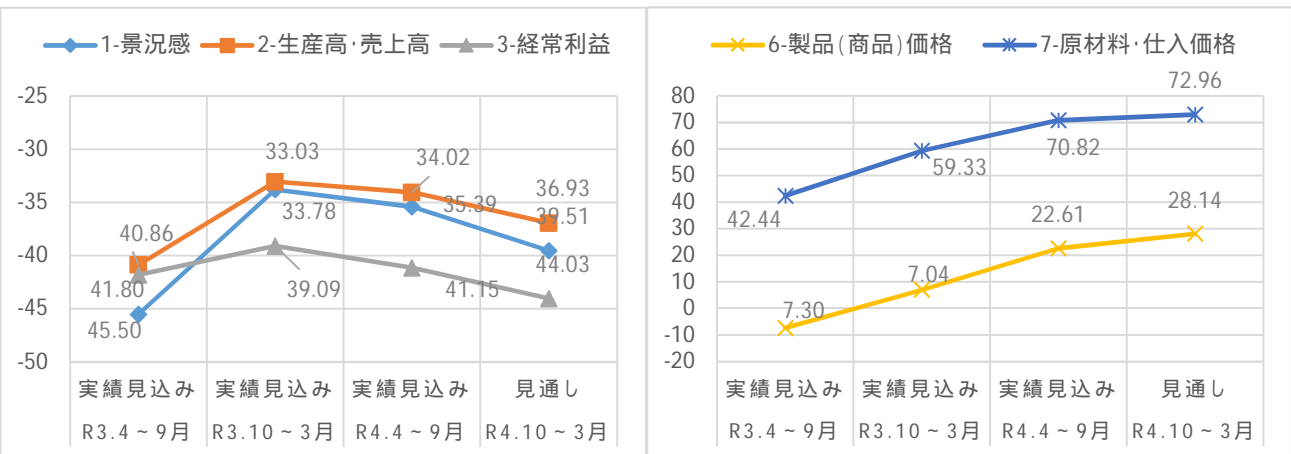
- (1)景況感 (2)生産高・売上高 (3)経常利益 (4)雇用人員
 (5)労働時間 (6)製品(商品)価格 (7)原材料・仕入価格
 (8)製品(商品)在庫 (9)資金繰り (10)設備投資
上記の質問について、DIを算出し、グラフを作成

[全体の概要]

今期(令和4年上期)の「景況感DI」は-35.39であり、前期から1.61ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても4.12ポイント減少の-39.51と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-34.02であり、前期から0.99ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても2.90ポイント減少の-36.93と下降傾向である。「経常利益DI」は-41.15であり、前期から2.06ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても2.88ポイント減少の-44.03と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は22.61であり、前期から15.57ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても5.53ポイント増加の28.14と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は70.82であり、前期から11.49ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても2.15ポイント増加の72.96と上昇傾向である。

原材料・仕入価格が上昇し続けているとともに、製品(商品)価格も徐々に上昇していることから、やむを得ず値上げせざるを得ない事業者も出てきたことがうかがえる。

下の折れ線グラフでは、景況感への影響の強い5項目(景況感、生産高・売上高、経常利益、製品(商品)価格、原材料・仕入価格)を掲載している。

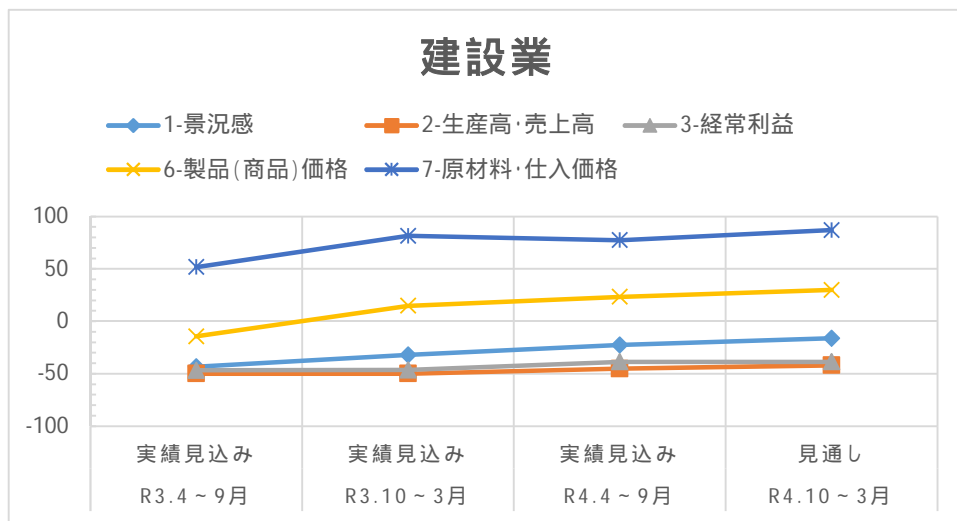


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	45.50	33.78	35.39	39.51
2-生産高・売上高	40.86	33.03	34.02	36.93
3-経常利益	41.80	39.09	41.15	44.03
4-雇用人員	15.96	25.45	19.50	24.07
5-労働時間	19.35	10.91	11.11	9.05
6-製品(商品)価格	7.30	7.04	22.61	28.14
7-原材料・仕入価格	42.44	59.33	70.82	72.96
8-製品(商品)在庫	9.25	3.43	7.14	10.22
9-資金繰り	25.81	21.72	25.51	26.25
10-設備投資	7.10	0.47	7.98	7.14

業種別の動向について

〔建設業の概要〕

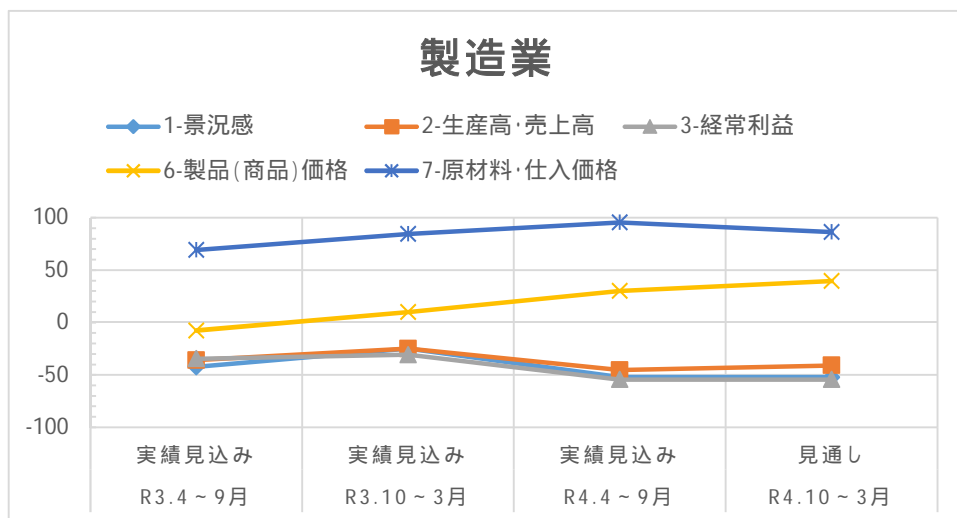
「景況感DI」は-22.58であり、前期から9.56ポイント増加し、改善傾向であり、見通しについても6.45ポイント増加の-16.13と改善傾向である。「生産高・売上高DI」は-45.16であり、前期から4.84ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても3.23ポイント増加の-41.94と上昇傾向である。「経常利益DI」は-38.71であり、前期から7.72ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「製品(商品)価格DI」は23.33であり、前期から8.52ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても6.67ポイント増加の30.00と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は77.42であり、前期から4.06ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては9.68ポイント増加の87.10と上昇傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	43.33	32.14	22.58	16.13
2-生産高・売上高	50.00	50.00	45.16	41.94
3-経常利益	46.67	46.43	38.71	38.71
4-雇用人員	33.33	46.43	33.33	35.48
5-労働時間	33.33	17.86	9.68	3.23
6-製品(商品)価格	14.29	14.81	23.33	30.00
7-原材料・仕入価格	51.72	81.48	77.42	87.10
8-製品(商品)在庫	6.90	0.00	17.86	17.86
9-資金繰り	33.33	21.43	12.90	16.67
10-設備投資	16.67	14.29	12.90	16.13

〔製造業の概要〕

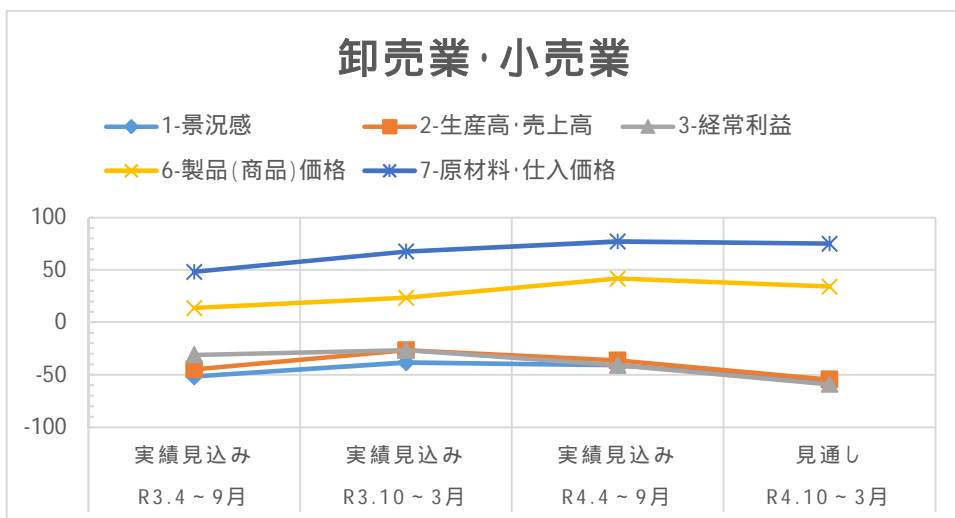
「景況感DI」は-52.27であり、前期から27.27ポイント減少し、悪化傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「生産高・売上高DI」は-45.45であり、前期から20.45ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては4.55ポイント増加の-40.91と上昇傾向である。「経常利益DI」は-54.55であり、前期から23.78ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「製品(商品)価格DI」は30.23であり、前期から20.23ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても9.30ポイント増加の39.53と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は95.45であり、前期から10.84ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては9.09ポイント減少の86.36と下降傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	42.31	25.00	52.27	52.27
2-生産高・売上高	36.00	25.00	45.45	40.91
3-経常利益	34.62	30.77	54.55	54.55
4-雇用人員	15.38	30.00	20.45	22.73
5-労働時間	19.23	15.00	25.00	13.64
6-製品(商品)価格	7.69	10.00	30.23	39.53
7-原材料・仕入価格	69.23	84.62	95.45	86.36
8-製品(商品)在庫	4.00	10.53	18.60	23.26
9-資金繰り	15.38	22.50	34.09	32.56
10-設備投資	15.38	5.00	11.36	11.36

〔卸売業・小売業の概要〕

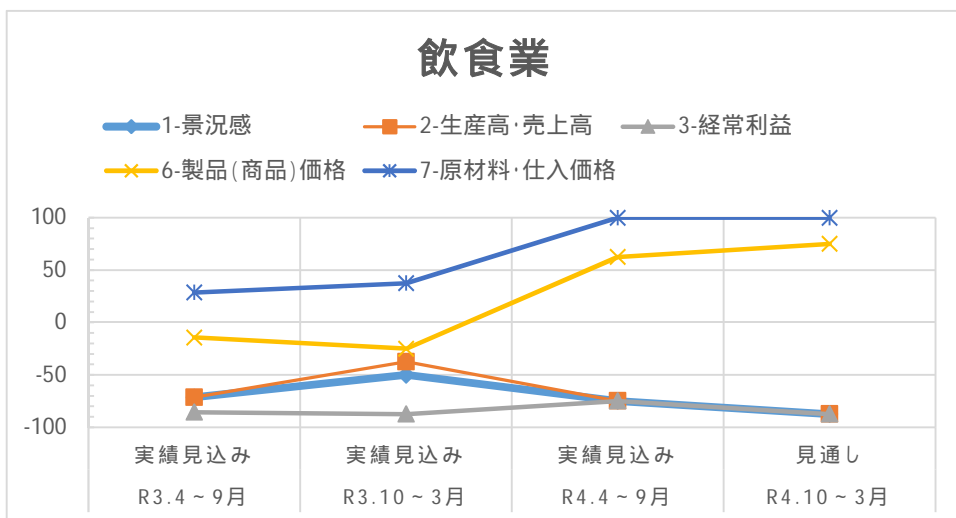
「景況感DI」は-40.91であり、前期から2.67ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても15.91ポイント減少の-56.82と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-36.36であり、前期から9.89ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても18.18ポイント減少の-54.55と下降傾向である。「経常利益DI」は-40.91であり、前期から14.44ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても18.18ポイント減少の-59.09と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は41.86であり、前期から18.33ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては7.77ポイント減少の34.09と下降傾向である。「原材料・仕入価格DI」は77.27であり、前期から9.63ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては2.27ポイント減少の75.00と下降傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	51.72	38.24	40.91	56.82
2-生産高・売上高	44.83	26.47	36.36	54.55
3-経常利益	31.03	26.47	40.91	59.09
4-雇用人員	24.14	14.71	20.45	20.45
5-労働時間	21.43	5.88	4.55	11.36
6-製品(商品)価格	13.79	23.53	41.86	34.09
7-原材料・仕入価格	48.28	67.65	77.27	75.00
8-製品(商品)在庫	6.90	17.65	2.27	2.27
9-資金繰り	20.69	20.59	27.27	27.91
10-設備投資	3.57	8.82	2.27	0.00

〔飲食業の概要〕

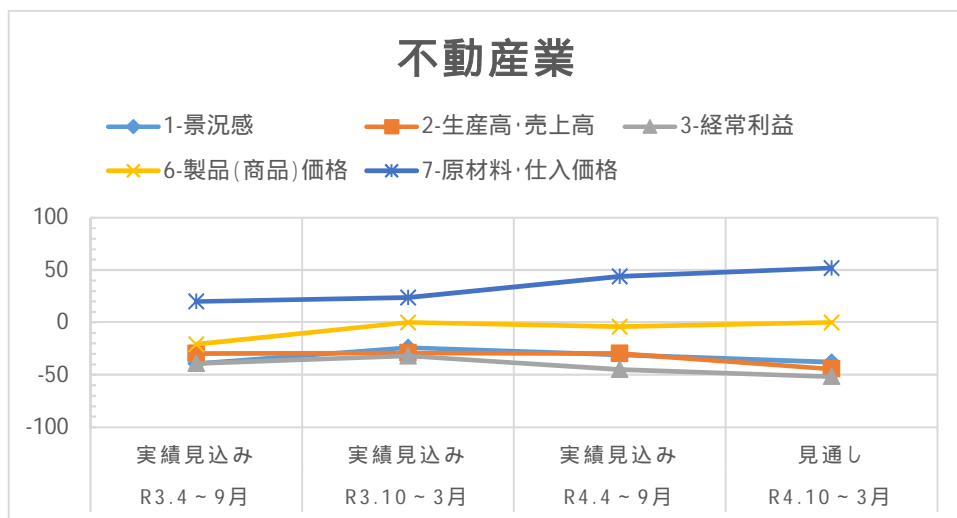
「景況感DI」は-75.00であり、前期から25.00ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても12.50ポイント減少の-87.50と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-75.00であり、前期から37.50ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても12.50ポイント減少の-87.50と下降傾向である。「経常利益DI」は-75.00であり、前期から12.50ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては12.50ポイント減少の-87.50と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は62.50であり、前期から87.50ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても12.50ポイント増加の75.00と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は100.00であり、前期から62.50ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	71.43	50.00	75.00	87.50
2-生産高・売上高	71.43	37.50	75.00	87.50
3-経常利益	85.71	87.50	75.00	87.50
4-雇用人員	14.29	25.00	50.00	50.00
5-労働時間	57.14	25.00	62.50	50.00
6-製品(商品)価格	14.29	25.00	62.50	75.00
7-原材料・仕入価格	28.57	37.50	100.00	100.00
8-製品(商品)在庫	57.14	25.00	12.50	12.50
9-資金繰り	14.29	0.00	37.50	50.00
10-設備投資	14.29	12.50	0.00	12.50

[不動産業の概要]

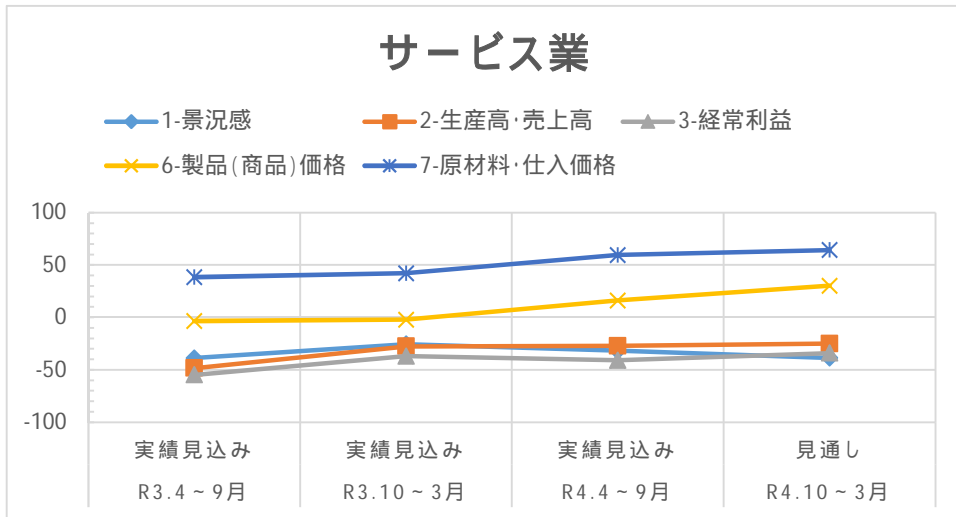
「景況感DI」は-31.03であり、前期から7.03ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても6.90ポイント減少の-37.93と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-29.63であり、前期から0.46ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても14.81ポイント減少の-44.44と下降傾向である。「経常利益DI」は-44.83であり、前期から12.83ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても6.90ポイント減少の-51.72と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は-4.00であり、前期から4.00ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては4.00ポイント増加の0.00と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は44.00であり、前期から20.19ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても8.00ポイント増加の52.00と上昇傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	39.29	24.00	31.03	37.93
2-生産高・売上高	29.63	29.17	29.63	44.44
3-経常利益	39.29	32.00	44.83	51.72
4-雇用人員	18.52	0.00	3.57	0.00
5-労働時間	3.70	8.33	0.00	0.00
6-製品(商品)価格	20.83	0.00	4.00	0.00
7-原材料・仕入価格	20.00	23.81	44.00	52.00
8-製品(商品)在庫	4.17	9.52	8.00	4.00
9-資金繰り	25.93	24.00	24.14	27.59
10-設備投資	11.11	17.39	14.81	7.41

〔サービス業の概要〕

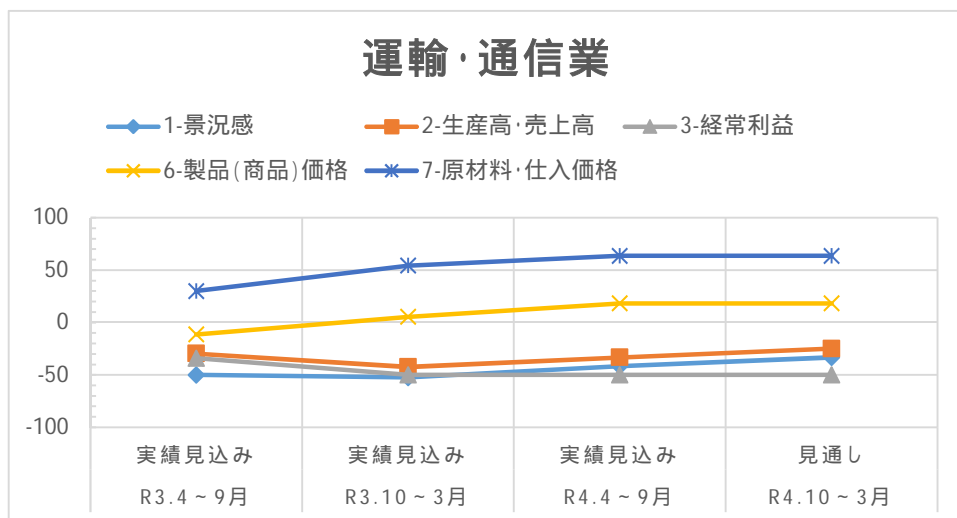
「景況感DI」は-31.82であり、前期から6.29ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても6.82ポイント減少の-38.64と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-27.27であり、前期から0.39ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても2.27ポイント増加の-25.00と上昇傾向である。「経常利益DI」は-40.91であり、前期から3.95ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては6.82ポイント増加の-34.09と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は16.28であり、前期から18.45ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても13.95ポイント増加の30.23と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は59.52であり、前期から17.30ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても4.76ポイント増加の64.29と上昇傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	38.71	25.53	31.82	38.64
2-生産高・売上高	48.39	27.66	27.27	25.00
3-経常利益	54.84	36.96	40.91	34.09
4-雇用人員	3.23	26.09	18.18	22.73
5-労働時間	12.90	8.51	9.09	9.09
6-製品(商品)価格	3.45	2.17	16.28	30.23
7-原材料・仕入価格	38.46	42.22	59.52	64.29
8-製品(商品)在庫	3.85	7.14	2.50	5.00
9-資金繰り	32.26	21.28	29.55	29.55
10-設備投資	13.79	0.00	11.90	0.00

〔運輸・通信業の概要〕

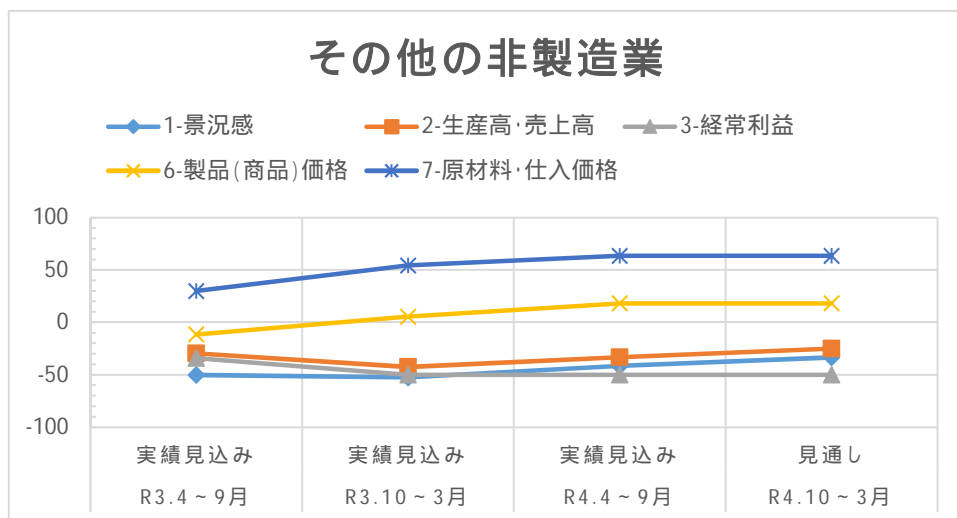
「景況感DI」は-20.93であり、前期から31.57ポイント増加し、改善傾向であり、見通しについても2.33ポイント増加の-18.60と改善傾向である。「生産高・売上高DI」は-13.95であり、前期から28.55ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても4.65ポイント増加の-9.30と上昇傾向である。「経常利益DI」は-20.93であり、前期から29.07ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても2.33ポイント増加の-18.60と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は7.89であり、前期から2.49ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても5.26ポイント増加の13.16と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は53.85であり、前期から0.44ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては7.69ポイント増加の61.54と上昇傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	50.00	52.50	41.67	33.33
2-生産高・売上高	29.73	42.50	33.33	25.00
3-経常利益	34.21	50.00	50.00	50.00
4-雇用人員	5.26	30.77	50.00	58.33
5-労働時間	21.62	17.95	25.00	16.67
6-製品(商品)価格	11.43	5.41	18.18	18.18
7-原材料・仕入価格	30.00	54.29	63.64	63.64
8-製品(商品)在庫	15.15	5.88	27.27	27.27
9-資金繰り	27.78	25.64	41.67	33.33
10-設備投資	2.78	13.51	8.33	25.00

【その他の非製造業(金融・保険業、その他)の概要】

「景況感DI」は-20.93であり、前期から31.57ポイント増加し、改善傾向であり、見通しについても2.33ポイント増加の-18.60と改善傾向である。「生産高・売上高DI」は-13.95であり、前期から28.55ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても4.65ポイント増加の-9.30と上昇傾向である。「経常利益DI」は-20.93であり、前期から29.07ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても2.33ポイント増加の-18.60と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は7.89であり、前期から2.49ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても5.26ポイント増加の13.16と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は53.85であり、前期から0.44ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては7.69ポイント増加の61.54と上昇傾向である。

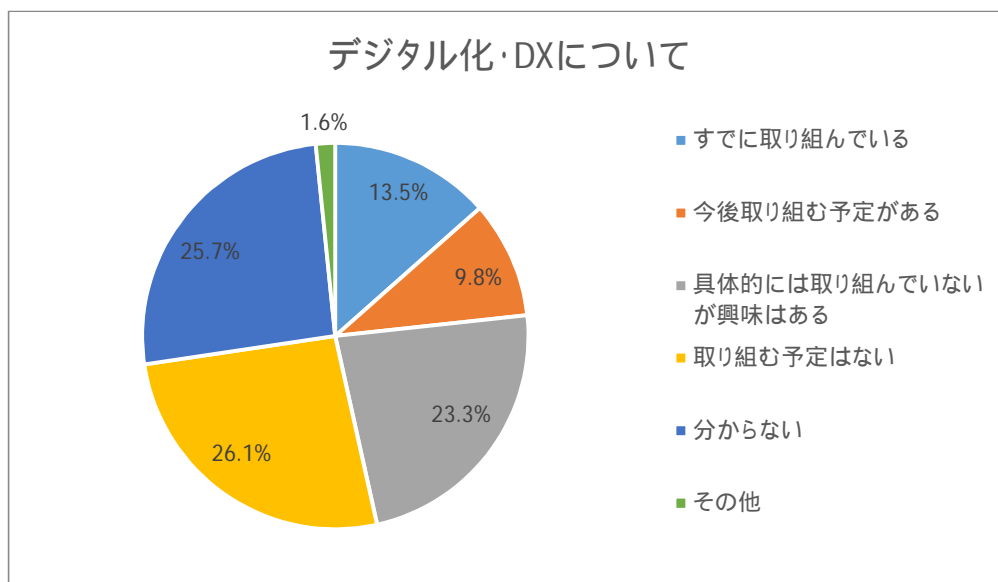


質問項目(DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	57.14	48.15	12.90	12.90
2-生産高・売上高	33.33	48.15	6.45	3.23
3-経常利益	35.71	40.74	9.68	6.45
4-雇用人員	0.00	15.38	6.45	22.58
5-労働時間	22.22	11.54	3.23	0.00
6-製品(商品)価格	11.54	8.00	3.70	11.11
7-原材料・仕入価格	14.29	52.17	50.00	60.71
8-製品(商品)在庫	16.67	13.04	4.00	0.00
9-資金繰り	38.46	26.92	9.68	9.68
10-設備投資	7.69	12.50	3.33	3.33

2 デジタル化・DXについて

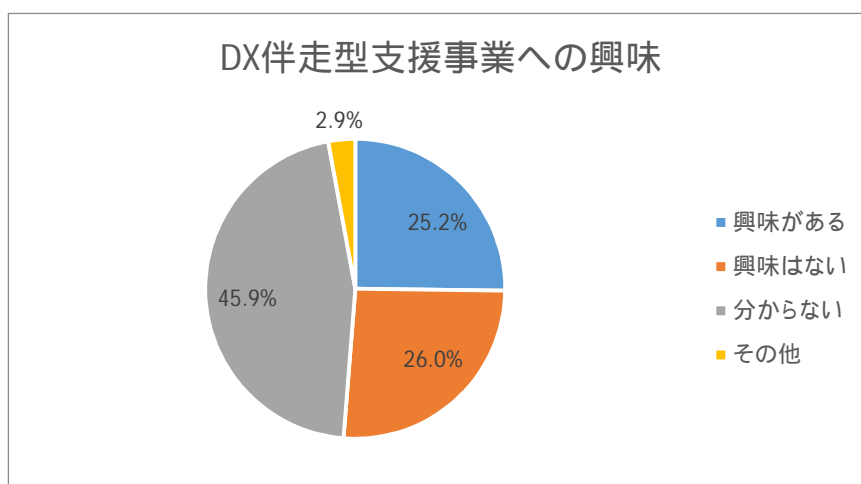
Q2-1 デジタル化・DXに取り組んでいますか。

- ・「取り組む予定はない」の回答が最も多く、26.1%を占めている。
- ・「すでに取り組んでいる」、「今後取り組む予定がある」と回答したのは23.3%、「具体的には取り組んでいないが興味はある」と回答した23.3%と合わせ、約半数の事業者がデジタル化、DXについて関心がある。
- ・一方、「分からない」、「取り組む予定はない」との回答も半数を占めており、二分している。



Q2-2 DX伴走型支援事業に興味がありますか。

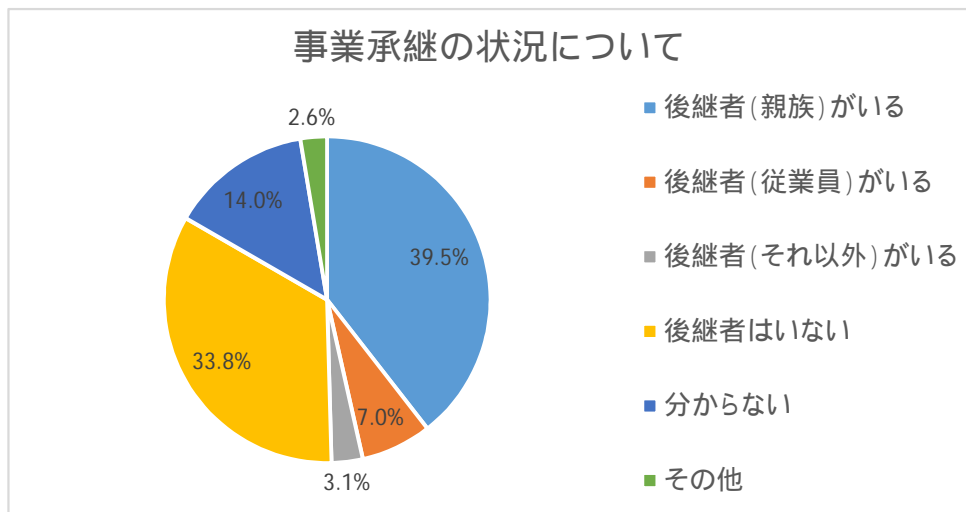
- ・「興味がある」と回答したのは約1/4であり、「興味はない」がほぼ同率の約26%となっている。
- ・分からないと回答したのが半数であった。



3 事業承継について

Q3-1 事業承継の状況について

・「後継者がいる」と回答したのは約半数を占める。後継者としては、親族が39.5%で最多となっている。次いで従業員が7%、それ以外が3.1%となっている。
・約1/3の事業者が「後継者はいない」と回答している。

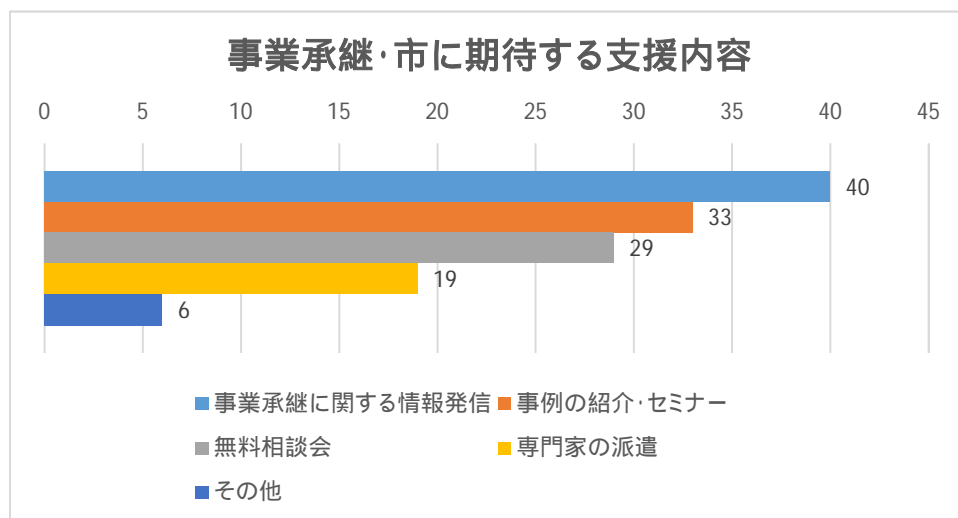


Q3-2 戸田市に期待する支援内容について

・「事業承継に関する情報発信」が多く、「事例の紹介・セミナー」、「無料相談会」、「専門家の派遣」の順であった。

・「特になし」の回答が最も多く、159社であった。

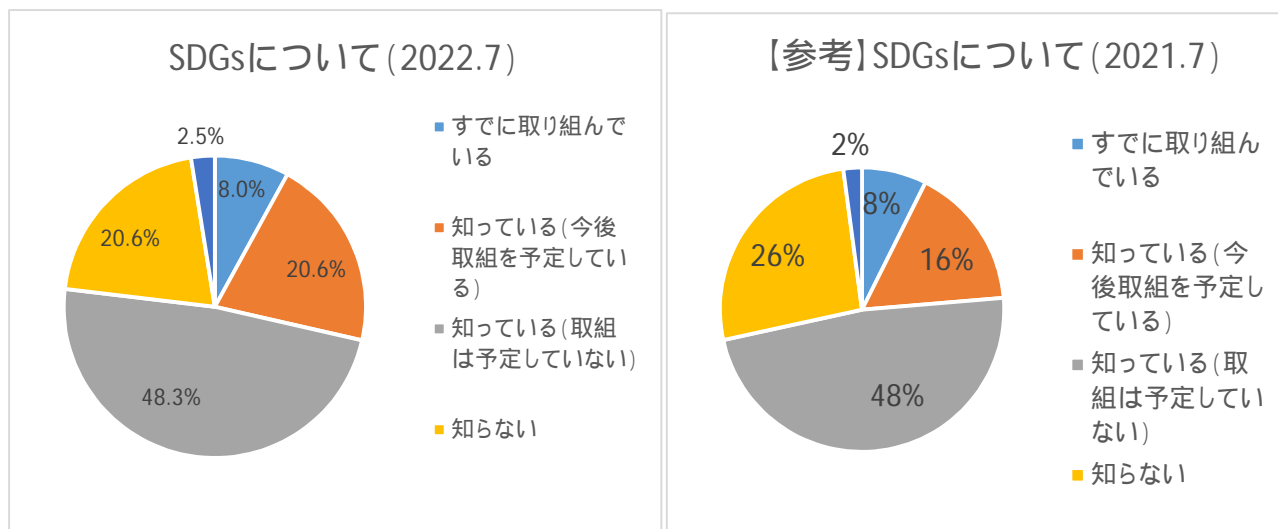
令和4年8月から、戸田市商工会、県支援センターと連携し、月1回の事業承継無料相談会を始めました。



4 SDGs(持続可能な開発目標)について

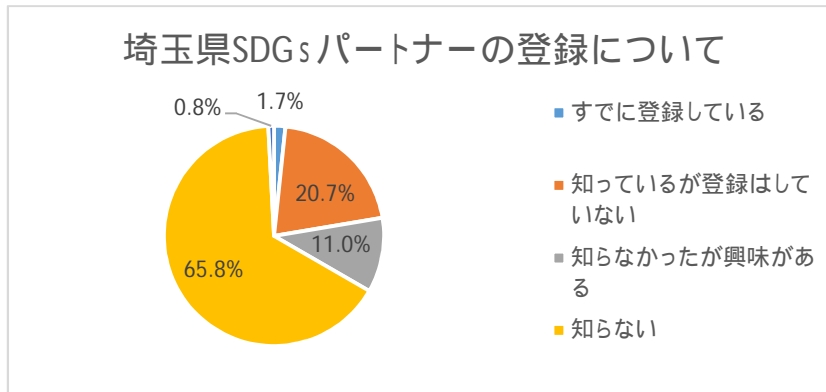
Q4 SDGs(持続可能な開発目標)について

・「すでに取り組んでいる」、「知っている(今後取組を予定している)」と回答した割合は、28.6%である。
・「知っている(取組は予定していない)」と回答した割合は、48.3%である。
・「知らない」と回答した割合は、20.6%であり、昨年7月調査から5.7ポイント改善している。



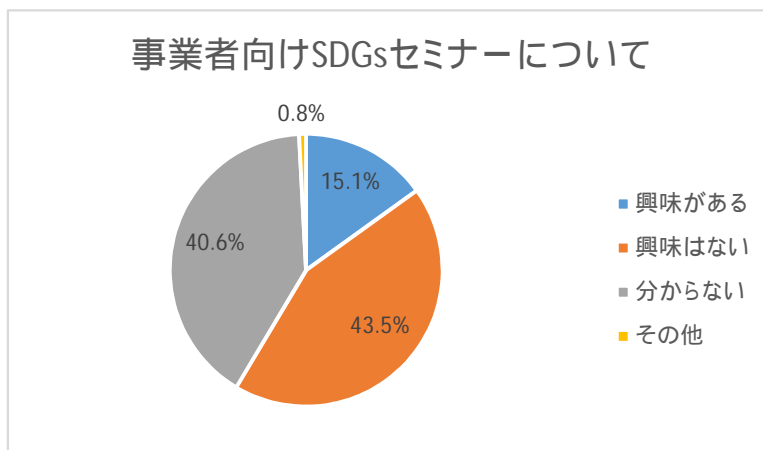
Q4-2埼玉県SDGsパートナーの登録について

- ・「すでに登録している」と回答したのは1.7%であった。
- ・「知っているが登録はしていない」と回答したのは約20.7%、「知らなかったが興味がある」と回答したのは11.0%、すでに登録済と合わせると本制度に関心があるのは1/3。
- ・「知らない」と回答したのは約66%と一番多かった。



Q4-3 事業者向けSDGsセミナーについて

- ・事業者向けSDGsセミナーに「興味がある」と回答したのは15.1%だった。
- ・「興味がない」と回答した事業者が43.5%を占めている。
- ・「分からない」と回答した事業者は40.6%だった。



戸田市景気動向に関するアンケート調査結果(2022年7月)
令和4年8月 日発行 戸田市 環境経済部 経済戦略室

実施・編集・発行 : 戸田市 環境経済部 経済戦略室
048-441-1800(内線374)